



総合エンジニアリング

日比谷

日比谷総合設備株式会社

<http://www.hibiya-eng.co.jp>

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号 住友不動産三田ツインビル東館

時代にまっすぐ、技術にまじめです。

# 2009年3月期 個人投資家会社説明会

---

説明資料

2008年11月22日

日比谷総合設備株式会社

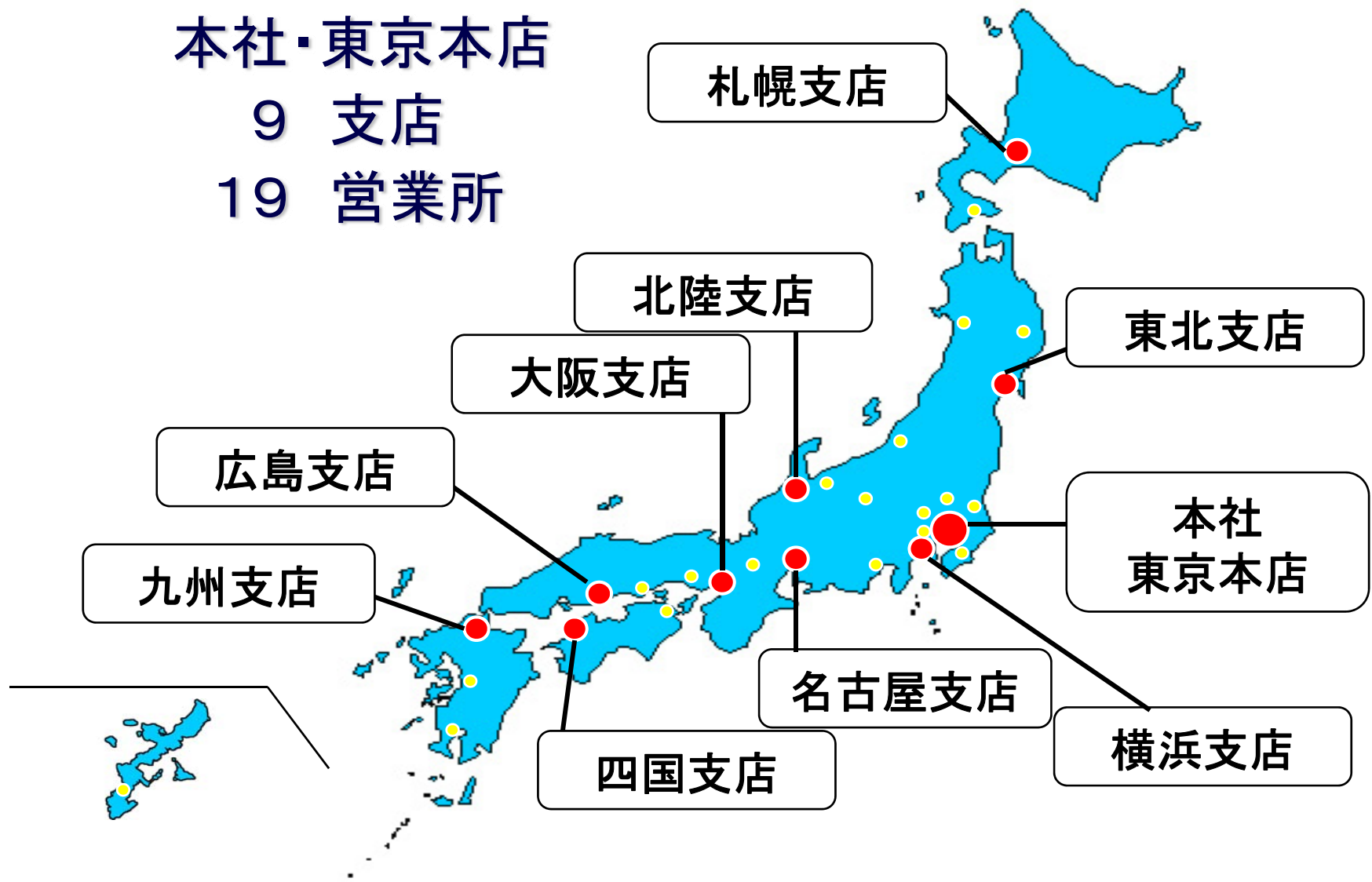
本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

# 会 社 概 要

- 設 立 1966年3月
- 代 表 者 代表取締役社長 木村信也
- 資 本 金 57億53百万円
- 株 式 東京証券取引所 第1部上場
- 従 業 員 725名 【連結868名】 2008.3末
- 売 上 高 503億円 【連結612億円】 2008.3末
- 事業内容 空調・衛生・電気・情報通信の各設備工事・  
各種設備システムの設計施工  
及び設備機器の製造・販売
- 子会社等 連結子会社 日比谷通商(株) ニッケイ(株)  
(持分法適用関連会社 日本メックス(株) )

# 支店・営業所

本社・東京本店  
9 支店  
19 営業所



# 本社・東京本店



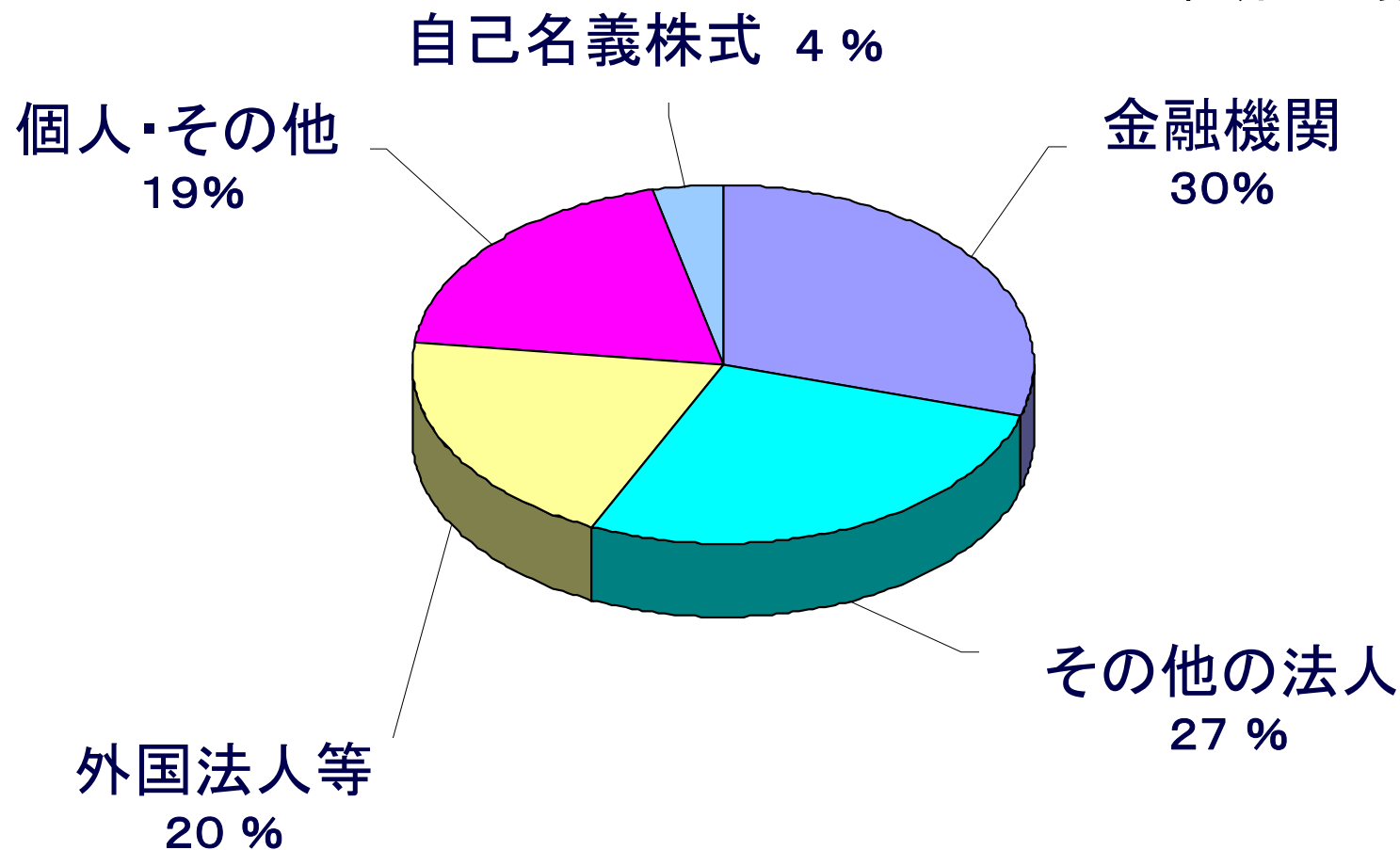
本社  
(住友不動産三田ツインビル東館)



東京本店  
(グランパークタワー)

# 株式の状況 [株主構成]

2008年9月30日現在



発行済株式の総数 : 37,000,309 株

9月末株主数 : 3,121 名

# 事業内容

## 空調和技術

- 常時空調システム ● 非常用空調システム ● 蓄熱式空調システム
- 空気清浄システム ● デイスプレイシステム空調システム ● 換気空調システム



● 空調用制御



● 熱交換ダンプ

## 給排水衛生技術

- 衛生処理設備 ● 排水処理システム ● 雨水利用システム
- HACCP対応システム ● 節水器具システム ● 建築衛生システム



● 中央ポンプ



● 中央給・排水ポンプ



## 電気技術

- 電力供給システム ● 非常用発電システム ● 単相電源システム
- 防災システム ● コーポ・モニタリングシステム



● 非常用発電設備



● 電力室動力盤

## 情報通信技術

- BGM制御システム ● サーバネットワークシステム構築ソリューション
- 集中監視システム ● ネットワークセキュリティ対策ソリューション
- 広域施設管理ネットワークシステム ● ネットワークセキュリティ対策ソリューション
- 入退室セキュリティシステム



● ネットワーク管理装置



● 中央監視装置

## 評価技術

- 経済性シミュレーション ● LCCO評価システム ● 建築設備診断システム ● POE調査
- エネルギーシステム ● パフォーマンス ● コミュニケーション ● コミュニケーション

# 事業内容(1) - 1

## 空気調和設備①



エアコン



空冷ヒートポンプ屋外機



# 事業内容(1)－2

## 空気調和設備②



クーリングタワー



ターボ冷凍機

# 事業内容(2) - 1

## 給排水衛生設備①



プール



ジャグジー

トイレ



# 事業内容(2) - 2

## 給排水衛生設備②



高架水槽



消火ポンプ

# 事業内容(3) - 1

## 電気設備①



## 照明設備

# 事業内容(3) - 2

## 電気設備②



発電設備



受変電設備

# 事業内容(4)

## 情報通信設備



## 中央監視装置

# 2009年3月期 第2四半期決算の概要

---

# 第2四半期決算概要【連結】

	2007.9実績	2008.9計画	2008.9実績	前期比	計画比
売上高	241.4億円	210.0億円	231.6億円	▲9.7億円	21.6億円
営業利益	▲10.2億円	▲6.0億円	▲5.6億円	4.5億円	0.4億円
経常利益	▲5.6億円	▲1.8億円	▲0.4億円	5.2億円	1.4億円
当期純利益	▲4.2億円	▲0.8億円	▲3.2億円	0.9億円	▲2.4億円

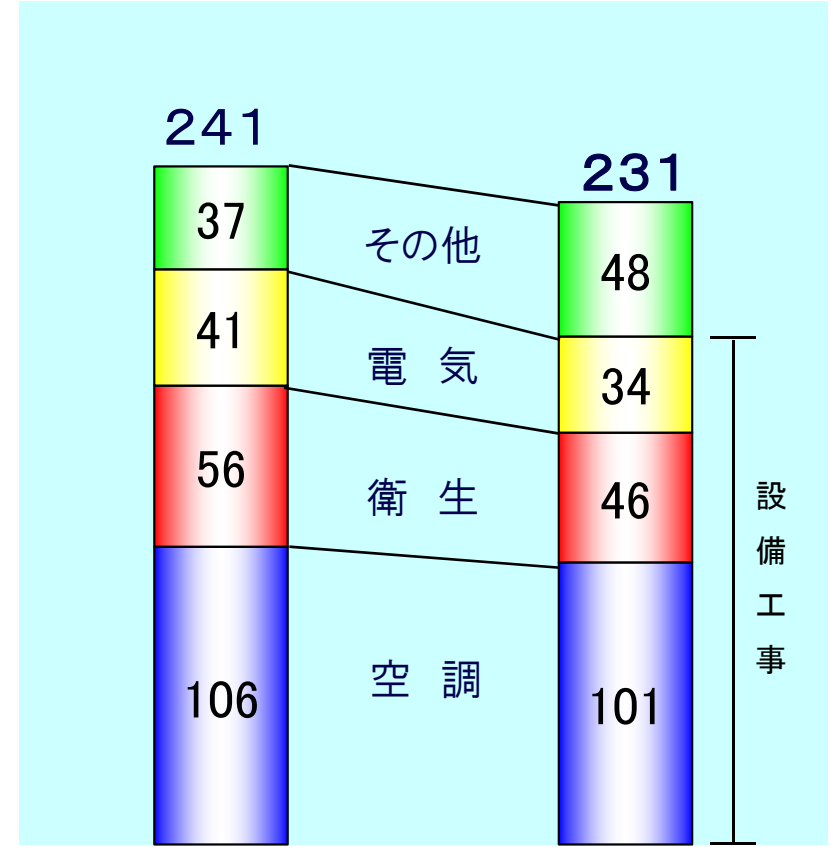
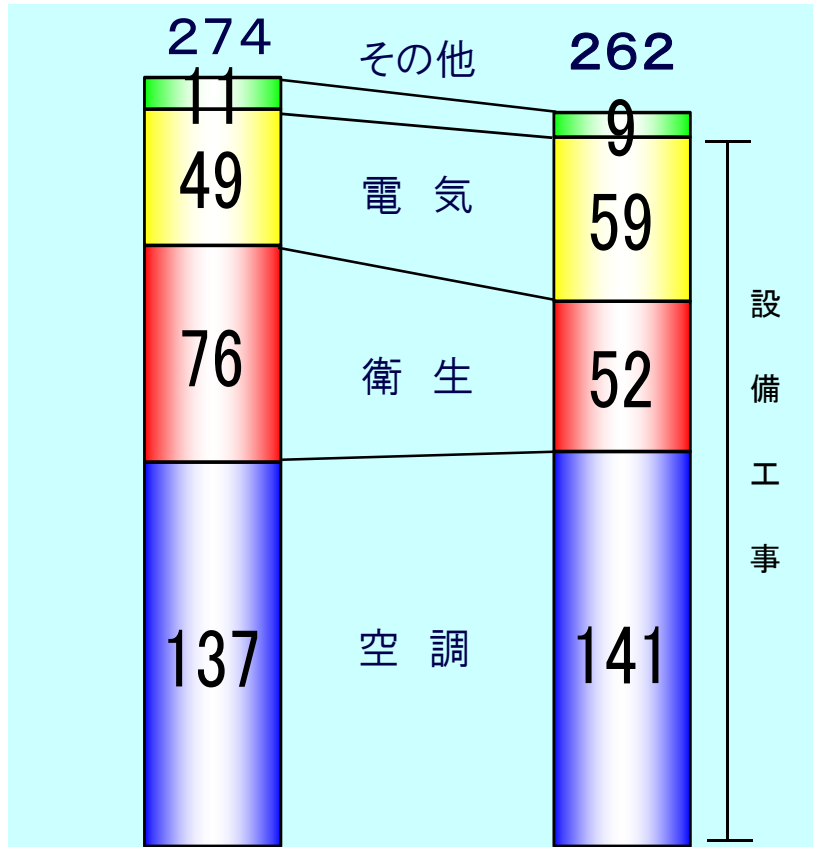


# 分野別 受注高・売上高【連結】

(単位:億円)

## 受注高

## 売上高



2007.9実績

2008.9実績

2007.9実績

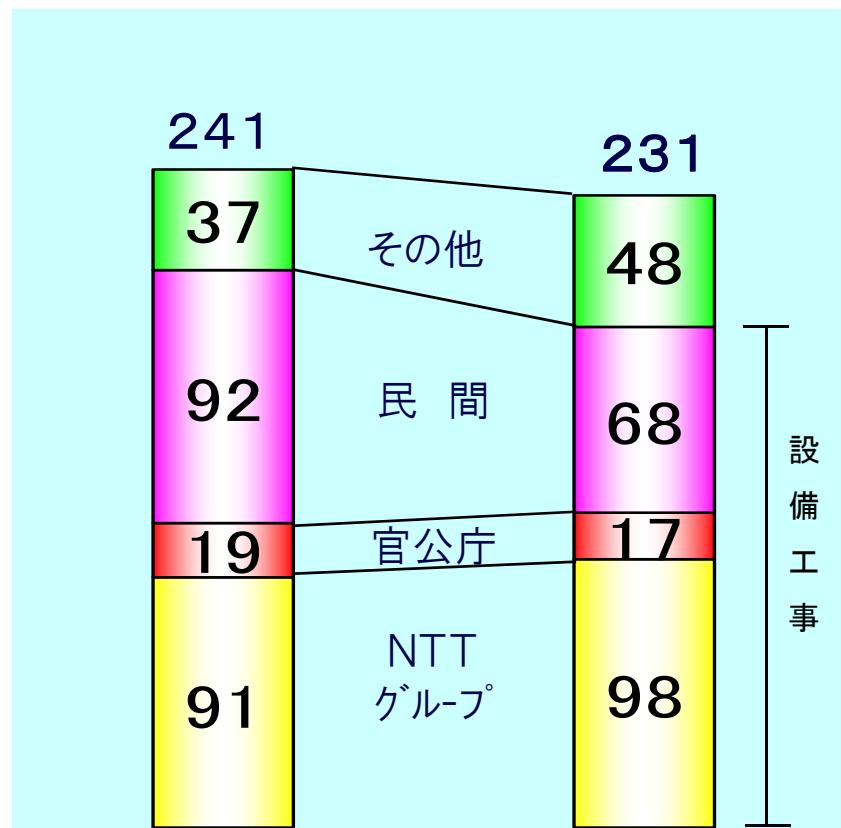
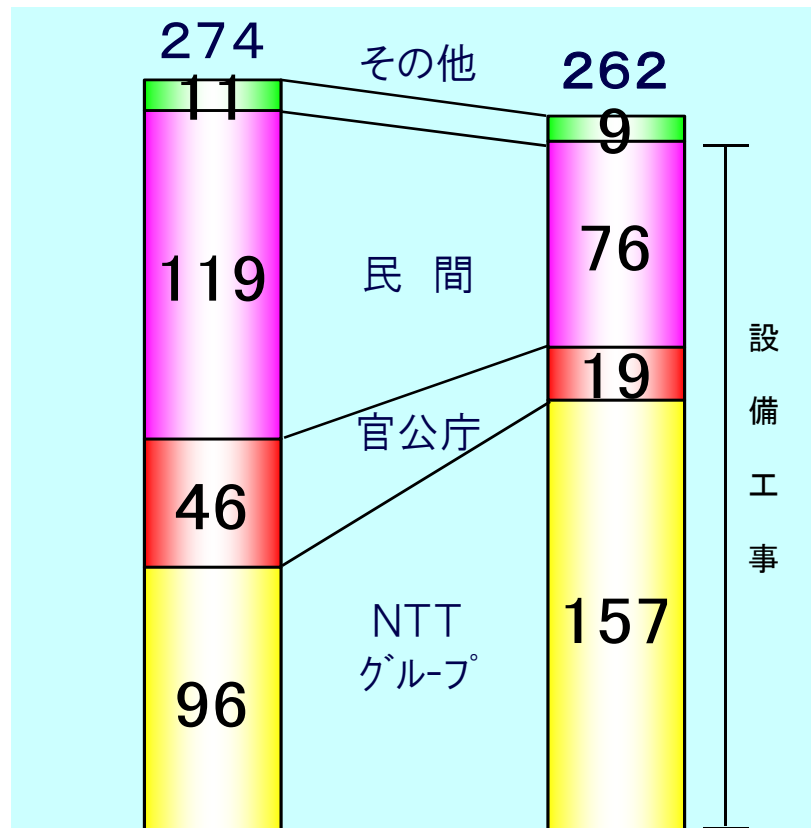
2008.9実績

# 顧客別受注高・売上高【連結】

(単位:億円)

## 受注高

## 売上高



2007.9実績

2008.9実績

2007.9実績

2008.9実績

# 2009年3月期 通期計画見通し

---

# 2009年3月期の計画【連結】

	2008.3実績	2009.3計画	2009.3見通し	増減率(%)
売上高	612.2億円	635億円	635億円	—
営業利益	6.6億円	11億円	11億円	—
経常利益	24.3億円	21億円	21億円	—
純利益	9.0億円	12億円	12億円	—
R O E	1.7 %	2.4 %	2.4 %	— ポイント

# 第3次中期経営計画

～時代を拓く、次代を創る～  
《2007.4～2011.3》

---

# 日比谷総合設備(株)のHIBIYA Vision

## ミッション

光・水・空気と情報で建物に命を吹き込み、お客様・社会にとって安全、安心、快適な環境を創造します。

たゆまぬ総合エンジニアリング力の向上によって、地球環境保全に貢献します。

建物のケア・マネージャーとして、ライフサイクルにわたるサポートでお客様のニーズに応えます。

社員を大切にし、お客様、株主を大切にします。

## 行動指針

1. お客様接点である、営業と工事の“現場”を起点として物事を考え、すべての仕事のやり方を見直し続けます。
2. “誠実とスピード”をもって、品質、安全、コストパフォーマンスの確保に取り組みます。
3. 常に高い目標、新たな技術・分野にチャレンジします。
4. 企業の社会的責任と法令遵守を常に意識し行動します。
5. “仲間”を大切にし、悩みや課題を対話によって解決します。
6. 言い訳をする前に“できる方法”を考えます。
7. “やりがい”を重視したマネジメントをします。

## 2010年度のイメージ

私たちは、“夢と希望と誇り”を  
持てるHIBIYAを実現します

- 創意と工夫で事業の発展に取組み、高い技術力と収益力を確保
- “ベストパートナー”と呼ばれている会社
- 常に新たな技術・分野に挑戦する会社
- 新しい事業に積極的にチャレンジし、社員から社長を輩出

# 事業ドメインの拡大戦略

【異業種事業領域】  
環境ビジネスへの進出 等

【隣接事業領域】  
ビルシステム・インテグレーション事業 等

【既存事業領域】  
高付加価値化による  
収益力の向上

- ・開発事業
- ・川上営業
- ・リニューアル工事



# 既存事業の収益向上戦略

営業部門

高収益案件の安定受注

総合的な  
収益力の向上

連携

連携

工事部門

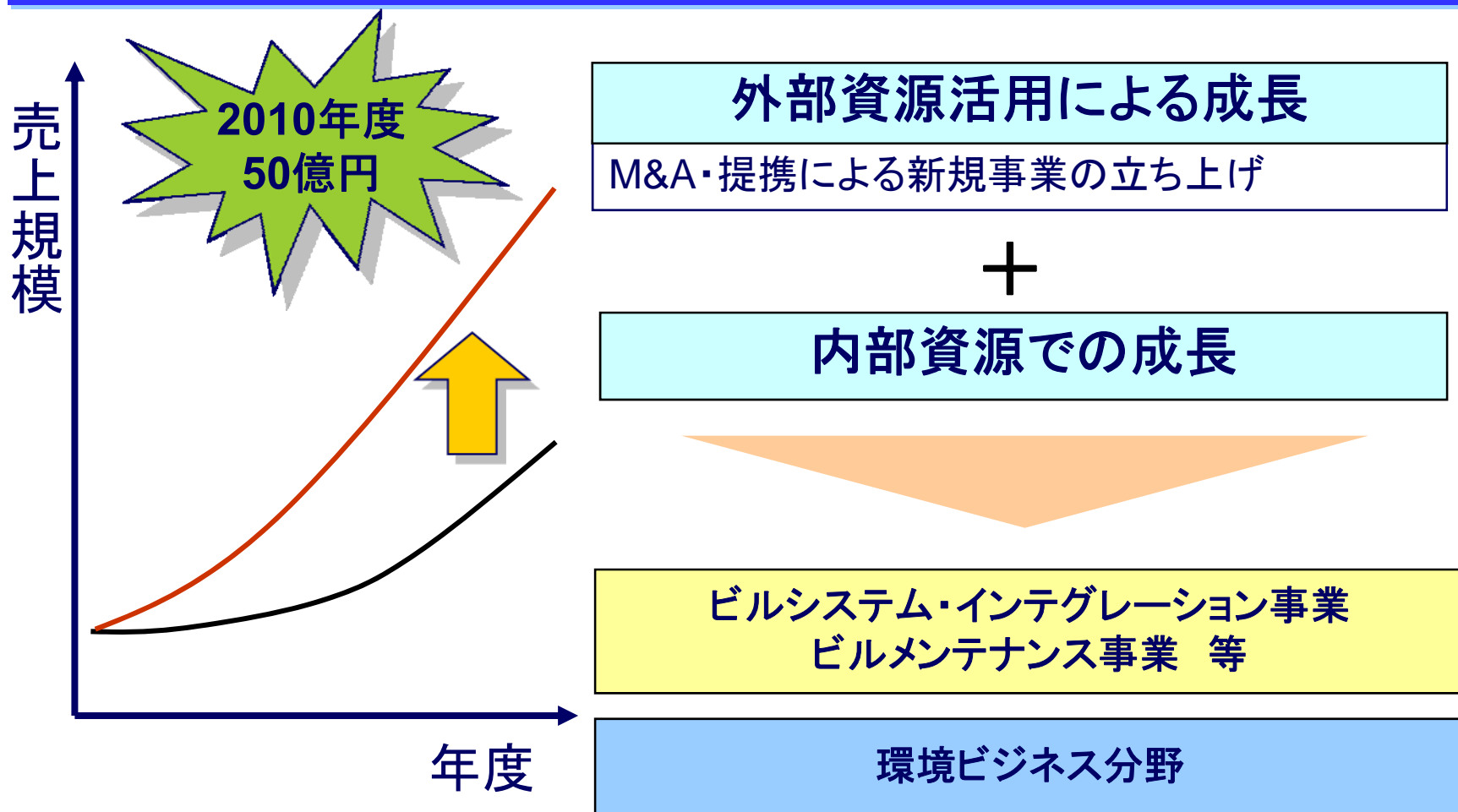
安全・品質の確保と  
生産性の向上

設計積算・原価管理・購買部門

連携

原価の抑制と  
適正原価の把握

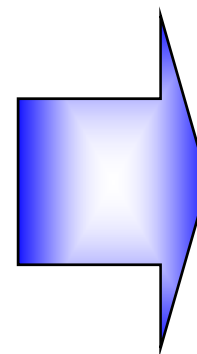
# 新規事業の成長戦略



外部資源を活用することで成長を加速

# 主な経営目標【連結】

	初年度実績 (2008.3)	2009.3計画
売上高	612.2 億円	635 億円
営業利益	6.6 億円	11 億円
経常利益	24.3 億円	21 億円
純利益	9.0 億円	12 億円
営業利益率	1.1 %	1.8 %
R O E	1.7 %	2.4 %



最終年度目標 (2011.3)
750 億円
27 億円
37 億円
22 億円
3.6 %
4.2 %

# 新規事業分野への取組み

---

# 新規事業（1）

## ビルシステム・インテグレーション事業

### ■システム概要

【防災センター内 情報設備】



は自社製品

中央監視装置(H-BAS)

IPv6対応NW



インターホン設備



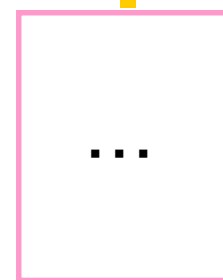
映像監視設備



入退室管理装置  
(NASCA)



空調等自動制御設備



その他各種設備

# 新規事業（2）

## 入退室管理システム - NASCA

### 開発終了項目【フェーズⅡ】

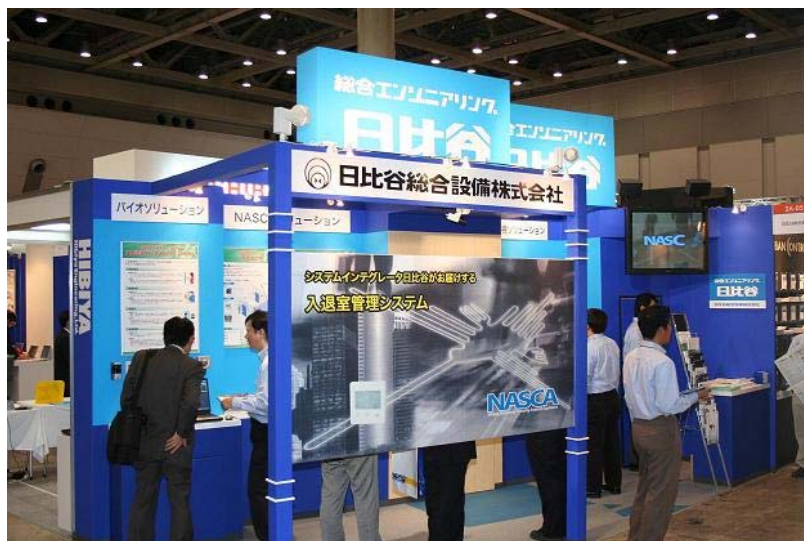
- 指静脈認証装置とのシステム一体化
- おサイフケータイ、Edyカード等対応
- システム連携機能拡張

空調・照明設備連動、監視カメラ連動、警備連動等

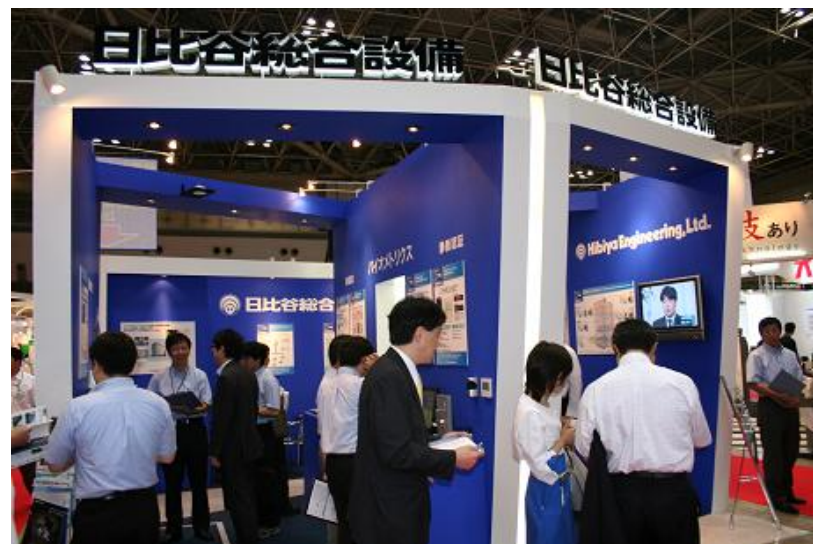


# 新規事業（3）

## 展示会に出展



危機管理産業展



オフィス セキュリティ EXPO

# 当社の環境分野への取組み

---



# 環境問題の背景（1）

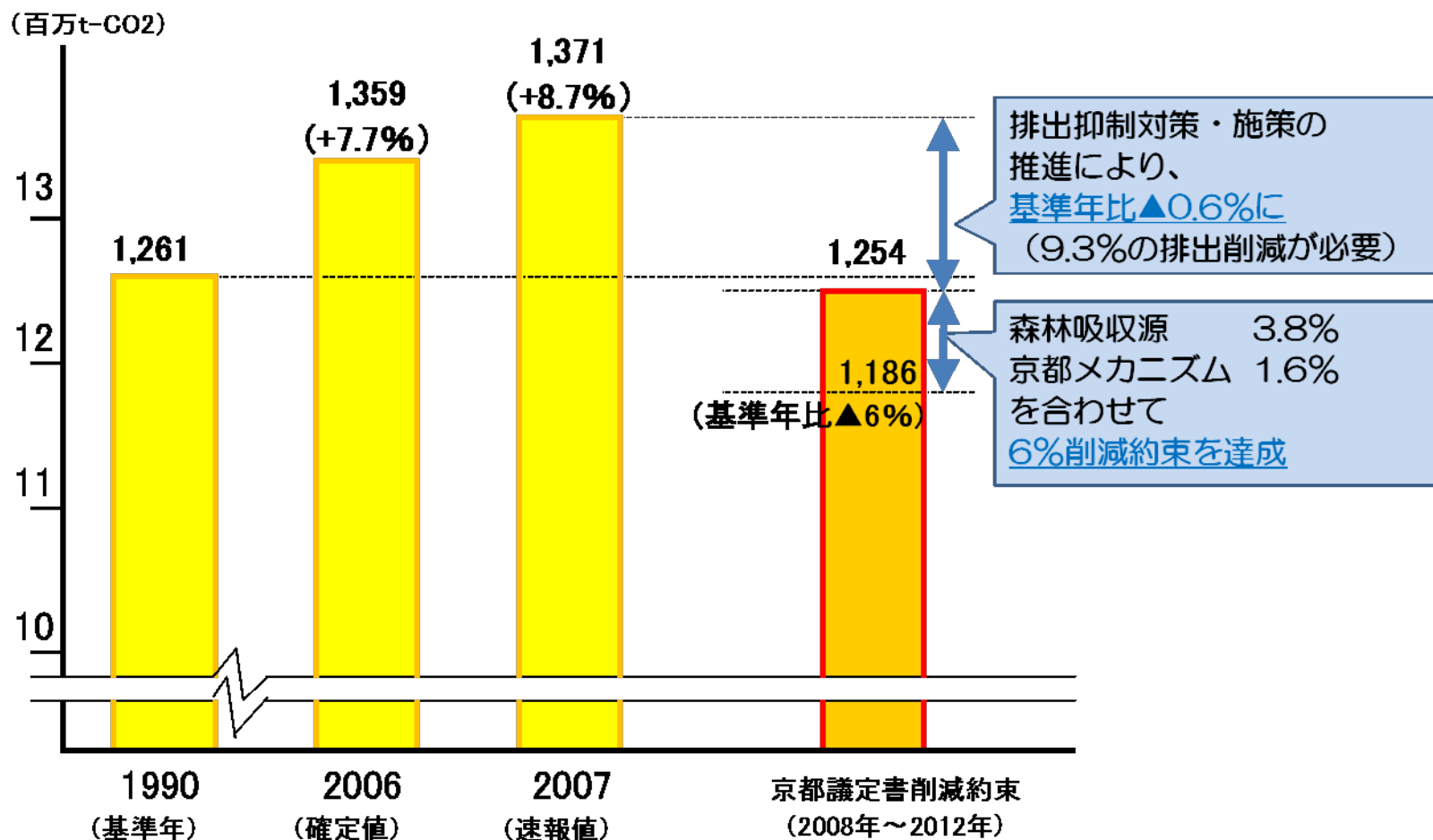


1997年の気候変動枠組条約第3回締約国会議（COP3 温暖化防止京都会議）において、京都議定書が合意されてから11年がたちます。「COP14で次期枠組み交渉」の話し合いがスタートします。 2008年12月1日～12日  
ポーランド/ポズナニにて開催予定



# 環境問題の背景(2)

京都議定書 第一約束期間の一年目 : 2008年から2012年



温室効果ガス総排出量の推移・京都議定書削減約束との関係

# 環境問題の背景(3)

## 省エネ法の改正

2009年4月施行

- エネルギー管理の義務が「事業所単位」から「事業者単位」へ拡大
- 熱と電気を合算した使用量が1,500 kl/年 [原油換算] の事業所 (2008年3月末) 14,116事業所を指定。(内、工場：9,375事業所 (66%) )
- 役員クラスのエネルギー管理統括責任者を配置

## 東京都地球温暖化対策計画書制度の強化

2010年より実施

- 大規模事業者の削減義務化および取引制度の導入
  - 大規模事業所(総量削減義務) 1,300事業所
  - 中小企業事業所(省エネ支援) 700,000 事業所
- 未達成の場合 措置命令(削減義務量×最大1.3倍の削減)  
命令違反の場合 罰金(上限50万円)  
違反事実の公表、知事が命令不足量を調達しその費用を請求

# 環境問題への当社の取り組み(1)

## 多くの既存ビルが対象

- ・ 設備が古く効率の悪い機器を使用
- ・ 配管劣化で断面積が縮小、ポンプ動力が増加している
- ・ 多くの水を必要とするトイレ
- ・ 照明や空調機の消し忘れ

## CO2削減が義務化？

- ・ 効率の良い機器の導入
- ・ 配管更新によりポンプ動力低減
- ・ 節水トイレ
- ・ 分析技術+自動制御で省エネ

CO2削減達成 と 建物価値向上

既存ビルの  
設備機器  
更新需要増加

日比谷の省エネ技術提供

# 環境問題への当社の取り組み(2)

## 当社のこれまでの取り組み

### 省エネ診断

- 大型サーバービルの省エネ診断
- 業務用ビルの省エネ診断

### エネルギー・マネージメント・システム

- 「エネルギー・マネージメントセンター(EMC)」を不動産管理会社に構築
- BEMSの導入
- 3E. SUPPORT(遠隔によるサポート)

### 温泉天然ガスCGS

- 温泉汲み上げに伴う、派生天然ガスをコージェネシステムの燃料に利用  
→「温暖化ガス排出抑制＋省エネ」

### その他

- 7月 環境ソリューションPTの立上げ

# 財 務 戦 略

---

# 株主還元施策（1）

## ～ 株主配当金 ～

### 【基本方針】

長期に亘る安定的な経営基盤の確保と業績に見合った成果の配分

（目標：年間配当は下限15円、個別ベースでの配当性向60%）

### 【2008年3月期】

- ・年間配当金は普通配当金15円に、上場30周年記念配当金10円を加え、1株当たり25円を実施

### 【2009年3月期】

- ・中間配当は1株当たり7円50銭

# 株主還元施策（2）

## ～ 自己株式の取得・消却 ～

### 【基本方針】

自己株式の取得・消却は、資本効率の向上並びに株主への利益還元の一環として、機動的に取り組む

### 【自己株式取得状況＜2008年4月1日～11月10日＞】

・取得株式数：73.9万株                      ・取得価額：6.31億円

### 【今後の予定】＜2008年11月10日取締役会決議の内容＞

・取得株式数：上限100万株              ・取得総額：上限10億円  
・期間：2008年11月11日～2009年3月31日



# コーポレートガバナンス 及び CSR 活動

---

- ◆ 取締役の人数減
- ◆ 執行役員制度の導入
- ◆ 取締役任期短縮
- ◆ アドバイザリーボードの設置

## ■CSR活動の定着

＜当社の重点取組事項：

安全、品質、環境、コンプライアンス＞

### ◆CSR活動の全社員への浸透による意識改革

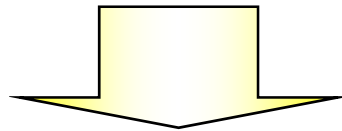
- ・ボランティア等による社会貢献の実施

### ◆CSR報告書のレベルアップ

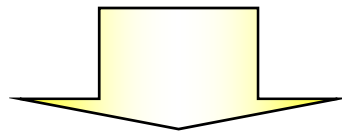
- ・CSR報告書2008の発行(6月)

### ◆ブランド・メッセージの定着化

## HIBIYA Vision・行動指針



(ブランドコンセプト)  
最先端の技術に長け、まじめに取り組む会社。



(ブランドメッセージ)  
時代にまっすぐ、技術にまじめです。